

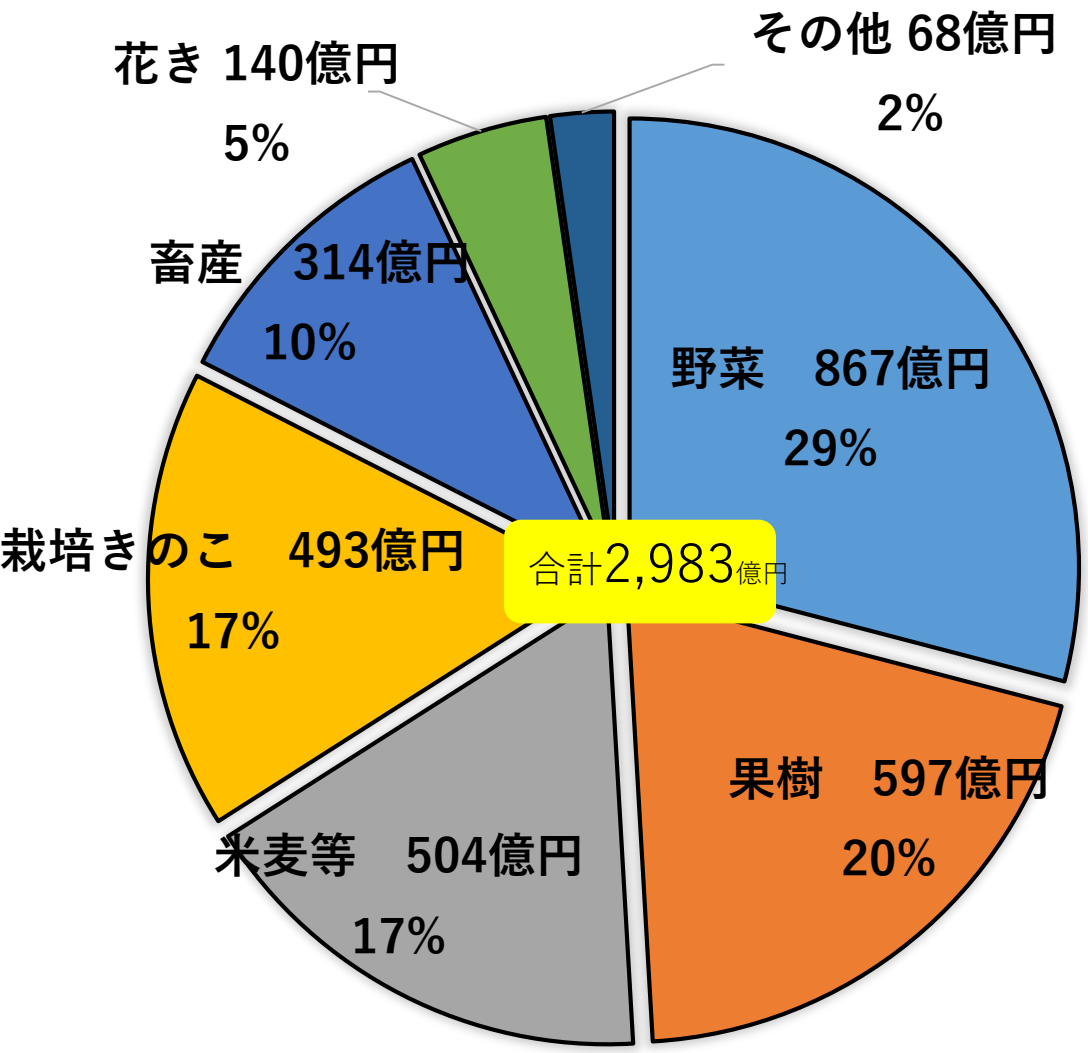
長野県の 果樹生産振興について

令和元年11月5日

長野県農政部園芸畜産課

長野県農業における果樹の位置づけ

長野県の品目別産出額と構成割合（H30）



長野県の果樹は自然条件を生かした産地形成がなされ全国屈指の地位を誇る基幹部門となっている。

品 目	生産量（t）	全国順位
りんご	149,100	2
ぶどう	25,900	2
日本なし	15,300	6
もも	14,500	3

長野県の果樹の特徴と振興計画①

品 目	作付面積 (ha)	生産量 (t)	産出額 (億円)
りんご	7,580	142,200	275
ぶどう	2,460	31,100	207
なし	841	15,150	39
もも	1,070	13,200	44
その他 果樹	2,290	15,519	32
合計	14,241	217,169	597

○栽培品目は多いが、りんご、ぶどう、なし、ももの4品目で作付面積の85%を占めている。
○ブルーンや市田柿（干し柿）など地域の個性的な品目栽培も盛んである。

長野県の果樹の特徴と振興計画②

果樹の作付け面積の変化（農林水産省作物統計表）（ha）

品 目	平成27年		平成30年
りんご	7,870		7,700
ぶどう	<u>2,400</u>		<u>2,460</u>
なし	875		858
もも	1,120		1,060
その他 果樹	2,400		2,290
合計	14,665		14,368

果樹の作付け面積は減少傾向にあるなか、ぶどうは微増となっている。

【要因】

○種なし・皮ごと品種の需要拡大に伴う作付面積の増加。

○ワイン産業の活性化によるワイン用ぶどうの作付け面積の増加

長野県の果樹の特徴と振興計画③

長野県果樹農業振興計画における生産振興方針（平成28年度策定、目標年令和7年）

1.県オリジナル品種等を活用した果樹産地の競争力強化

標高や出荷時期を踏まえた県オリジナル品種等優良品種を戦略的に導入

2.収益性が高く省力的な果樹栽培の推進

省力化と生産性向上が同時に実現できるりんご高密植栽培・新わい化栽培、ぶどう平行整枝短梢せん定栽培等を積極的に導入

3.うまいくだものを安定生産できる産地づくり

品種ごとの高品質果実生産に向けた基本技術の励行、研修会の開催等
自然災害に強い産地づくり

4.果樹経営基盤の安定

樹園地継承・集積、6次産業化、施設化・複合化を推進、農業保険加入推進

長野県オリジナル品種

大玉で甘いすもも「シナノパール」



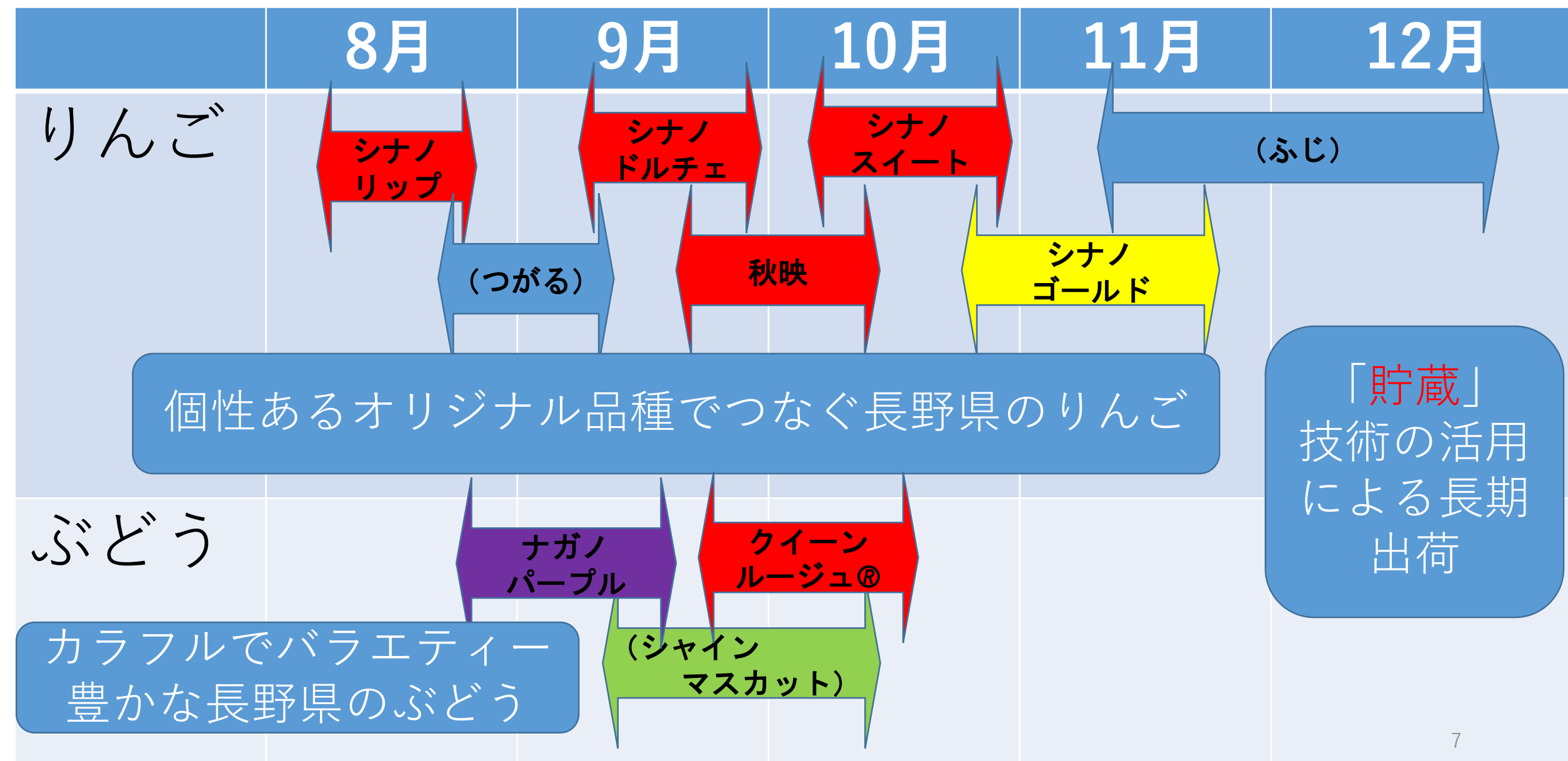
夏りんご「シナノリップ」

赤色の種なし・皮ごと品種
「クイーンルージュ®」



「ナガノパープル」、
「クイーンルージュ®」
「シャインマスカット」種なし3品種

長野県オリジナル品種による魅力ある産地づくり



収益性が高く省力的なりんご栽培の推進

	普通樹栽培	わい化栽培		
		旧わい化栽培	新わい化栽培	高密植栽培
台木	マルバカイドウ	M 2 6 /マルバカイドウ M 9 /マルバカイドウ	M 9 ナガノ フェザー苗（専用苗木）	
栽植密度	10m × 10m程度 1 0 本／10 a	5 m × 2 m程度 1 0 0 本／10 a	4m × 1.25m程度 125本～200本/10 a	3～3.5m × 1m以下 250本以上／10a
目的・ 目標収量 特徴	○省力性は加味しない。長期収穫 4 t ／10a ○低コストだが面積 当たり収益性低い。	○省力化を目指したが樹体が小型化せず 効果が低い 4 t ／10a	○樹体小型化と低 樹高化による省力 化。 早期多収。 4 t ／10a	○密度を上げるこ とで早期多収と高 収量。 機械利用拡大によ る作業効率向上。 5 t ／10a ○種苗、施設のコ ストは高い
成園化	10年以上		5年目	3年目

りんご普通樹と新わい化栽培・高密植栽培

【普通樹栽培】

あちこち移動するのが大変。
作業が複雑。
幹・枝太さの割に果実が少ない



【高密植栽培】

作業がしやすく・単純。
幹・枝太さの割に果実が多い。



りんごの生産振興方針

長野県果樹農業振興計画書

- 県オリジナル品種の生産拡大
- 新わい化栽培・高密植栽培の拡大
(苗木の供給体制の確立 20万本／年)

	現状（平成26年度）		目標（令和7年）			
	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	H26比	
					栽培面積	生産量
りんご	ha	t	ha	t	%	%
	7,900	162,900	7,650	166,000	97	102
県オリジナル品種	1,402	33,155	2,340	49,700	167	150
つがる	1,539	22,300	1,050	18,900	68	85
ふじ	4,530	99,200	4,100	94,000	91	95
その他	429	8,245	160	3,400	37	41
新わい化栽培・ 高密植栽培	257 h a		1,000 h a		389 % ₁₀	

ぶどうの生産振興方針

長野県果樹農業振興計画書

無核栽培比率の拡大と
ワイン用ぶどうの生産拡大

		現状（平成26年度）		目標（令和7年）			
		栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	H26比	
						栽培面積	生産量
ぶどう		ha	t	ha	t	%	%
		2,400	29,500	2,500	31,000	104	105
	巨峰	1,417	16,617	900	11,210	63	67
	うち有核巨峰	693	8,108	250	3,250	36	40
	無核巨峰	724	8,509	650	7,960	90	94
	ナガノパープル	115	1,067	350	3,850	304	361
	シャインマスカッ	168	2,151	500	7,000	298	325
	その他生食ぶどう	500	7,663	350	4,830	70	63
	醸造用ぶどう	200	2,002	400	4,172	200	208
	無核栽培比率（％）	50	48	67	66	134	137

その他の果樹の生産振興方針

品目	主な生産振興方針
もも	○市場評価の高いオリジナル品種「なつっこ」の栽培拡大と糖度の高い品種のシリーズ化 ○改植の推進による園地の若返りと改植障害対策 ○ネクタリンのスイートタイプのシリーズ化
なし	○市場評価の高いオリジナル品種「南水」のブランド化と長期出荷 ○早期多収・省力化に向けた「樹体ジョイント栽培」の導入拡大と種苗の確保
すもも	○大玉・高糖度のオリジナル品種「シナノパール」の高級すもも商標「麗玉®」としてのブランド化
かき	○需要の高い干し柿「市田柿」の生産拡大とブランド化の推進